

不適合情報

2021年4月19日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	7号機	新規基準で設置された火災感知設備の三号使用前事業者検査開始前の現場確認において、2021年2月の現場確認時に規制庁検査官から消防法施行規則に基づく設置基準を満足していないことの指摘(2021年3月15日不適合公表済み)を受けた。設置状況の再確認を行い、あらためて現場確認を実施したところ、コントロール建屋区分Ⅲ計測用電源盤室の煙・熱感知器が設置基準を満足していないことを指摘された。当該事象の原因を調査し、据付位置の再確認・移設を実施。なお、既設の消防法に基づき設置されている感知器は設置基準を満足しており、火災感知機能に問題ないことを確認済み。	2021/04/14	—

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	荒浜側焼却炉建屋地下1階(管理区域)で、作業に従事していた協力企業作業員の γ ・ β 線用警報付ポケット線量計が鳴動したことを確認した。ただちに管理区域から退域し線量計を確認したところ、 γ 線0.31mSvが記録されていた。移動経路の測定を行ったところ線量率は0.001mSv/h未満であり、同一作業に従事した作業員の線量計計測値も0.00mSvであったため線量計の異常と判断し、当該作業員の線量を0.00mSv未満と評価。当該線量計を点検・修理。	2021/04/13	
2	7号機	原子炉補機冷却海水系ストレーナー(A)のドレン弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2021/04/14	
3	7号機	タービン建屋地下中2階および原子炉建屋4階の照明回路断線の原因調査において、当該回路の電線および電線管中継箱に損傷を確認した。当該回路の電源を停止し、電線および電線管中継箱を交換。	2021/04/15	
4	その他	荒浜側焼却炉建屋地下1階(管理区域)廃油貯蔵室廃油供給ポンプの床面ピット内に、湧水(約10cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/04/14	